

田原本をもっともっと 住みよい街にしたい！
お力をお貸しください。

田原本町議会議員

厚生建設委員会委員長
議会改革特別委員会委員長

ふじい

藤井 まさと

45歳

未来の田原本を考える会



令和3年9月より2期目

「誰ひとり取り残さない町へ」

5つの政策柱による実現報告

町民の皆さまの声を原動力に、私はこの4年間、議会での一般質問を通じて
政策提案を重ね、着実な成果を積み重ねてまいりました。
ここでは、特に重点を置いて取り組んできた5つの政策分野について、
その実現内容をご報告いたします。

実現報告①



子育て支援

保育所新設により、子どもたちの笑顔と保護者の安心を実現！

実現報告②



医療・福祉支援

がん患者の外見ケア支援制度を創設し、療養と社会参加の両立を後押し！

実現報告③



農業の再生と持続可能性

農業支援策の拡充により、担い手確保と地域資源の活用を推進！

実現報告④



地域経済の活性化

市街化調整区域の「ものづくりエリア」指定により、経済の好循環を創出！

実現報告⑤



公共施設の省エネ改修

成果連動型官民連携（PFS・ESCO方式）により、庁舎の全面改修を実現

子育てや教育環境を整え、人間にとって一番大切に豊かな心を育み、
安心・安全・笑顔の絶えない羨望のまちである「**未来の田原本町**」を創造します。

ふじい
藤井 まさと

経歴

- 自民党田原本町支部 青年局長
- 自民党奈良県連合会 政務調査審議委員
- 自民党奈良2区青年局 サイバーセキュリティ委員長
- (一社)大和郡山青年会議所 第42代理事長
- リニア中央新幹線早期実現に向けた市民運動の牽引
- 近畿ブロック副委員長
- 青少年健全育成委員
- 空手道MAC奈良支部 顧問
- 関西若手議員の会 賛助会員
- 予備自衛官(二曹)
- 茶道裏千家淡交会 青年部員

資格

- 一級建築技能士
- 宅地建物取引士
- 耐震診断員
- 二級建築士
- ブロック塀診断士

受賞歴

- リフォーム全国コンテストグランプリ受賞
- トータルハウジング大賞 7回受賞、他受賞



実現報告①

子育て支援

保育所新設により、子どもたちの笑顔と保護者の安心を実現！

町内における保育需要の高まりを受け、私は保育所新設の必要性を議会で繰り返し訴え、予算確保に尽力してまいりました。その結果、民間事業者による認可保育所の整備が実現し、現在では多くの子どもたちが新しい園で元気に過ごしています。

- 保育所整備費補助：9,388万円（町補助）
- 対象：認可保育所を設置・運営する民間事業者
- 効果：待機児童の解消、子育て家庭の負担軽減、就労支援の推進

▶ 子どもたちがのびのびと育ち、保護者が安心して働ける町へ。今後も、子育て支援のさらなる充実に取り組んでまいります。

実現報告②

医療・福祉支援

がん患者の外見ケア支援制度を創設し、療養と社会参加の両立を後押し！

がん治療に伴う外見の変化は、患者の心身に大きな影響を及ぼします。治療中であっても「自分らしく生きたい」「外見の変化が不安で外出や仕事ができない」といった声は、町民の皆さまからも多く寄せられていました。私は令和5年6月定例会において、こうした声を町政に届け、医療用ウィッグや乳房補整具の購入費を助成する制度の創設を提案しました。その結果、田原本町では令和6年度より新たな支援制度がスタートし、がんと向き合う方々の生活を力強く支える体制が整いました。

- 対象：町内在住で町税滞納のない方
- 助成対象：令和6年4月1日以降に購入した医療用ウィッグ・乳房補整具
- 申請期限：購入日から1年以内
- 効果：療養と社会参加の両立支援、心理的負担の軽減

詳細はこちら



▶ 誰もが「自分らしく生きる」ことをあきらめずにいられる町へ。今後も、医療・福祉の分野で現場の声を政策に反映してまいります。

実現報告③

農業の再生と持続可能性

農業支援策の拡充により、担い手確保と地域資源の活用を推進！

田原本町の農業が抱える課題——担い手不足、耕作放棄地の増加、高齢化——に対し、私は現場の声をもとに具体的な政策提案を行い、町の農業政策を大きく前進させました。

- 農機具購入補助制度の創設（最大150万円、うち国補助75万円）
- 対象：耕作放棄地の解消・発生抑止に資する農地を取得・借受する方
- 小規模農家の声を反映した地域計画づくりの策定支援
- アグリツーリズムの推進（農泊・農作業体験・空き家活用）
- 地場産品のブランド化とGI登録への取り組み（例：「味間いも」「いちご」）
- 炭の活用による土壌改良、循環型農業の推進



▶ 農業を地域の誇りある産業として次世代へ継承するため、今後も持続可能な農業政策の実現に取り組んでまいります。

実現報告④

地域経済の活性化

市街化調整区域の「ものづくりエリア」指定により、経済の好循環を創出！

——建築士・宅建士としての専門性と現場感覚を活かして、制度の壁を突破

市街化調整区域は、都市計画法に基づき原則として開発が制限されている地域であり、長年にわたり「動かせない土地」として扱われてきました。しかし私は、こうした区域にこそ地域の将来を切り拓く可能性があると信じ、議会での提案を粘り強く重ねてまいりました。

転機となったのが、運転免許センターの移転計画です。この好機を逃さず、私は建築士・宅建物取引士としての専門知識と、まちづくりの現場で培ってきた実務感覚を活かし、土地利用の新たな可能性を具体的に提案しました。単なる開発誘導ではなく、地域の特性や将来像を踏まえた「持続可能な土地活用」の視点から、制度の壁に挑んだのです。その結果、令和6年4月、京奈和自動車道沿道の南北約5kmにわたる区域が「ものづくりエリア」に正式指定されました。これは、田原本町にとって初めての本格的な産業集積ゾーンの形成に向けた大きな一歩であり、地域経済の活性化に向けた起点となります。

この指定により、右記のような経済の好循環が期待されています。

さらに、この経済の循環は農業や地域資源の保全にも波及します。企業誘致による定住促進は、農業の担い手確保や農地の維持、地産地消の仕組み強化にもつながり、地域全体の持続可能性を高めることができます。

好循環のステップ

- ① 企業誘致 —— 新たな事業所・工場が立地し、地域に投資が流入
- ② 雇用創出 —— 地元での就業機会が増え、若者の定住にもつながる
- ③ 地域消費の拡大 —— 働く人が地域で暮らし、買い物やサービス利用が活発に
- ④ 税収の安定 —— 地域経済が活性化し、町の財政基盤も強化される
- ⑤ 次の投資へ —— 得られた財源で、さらに教育・福祉・インフラへ再投資

▶ 市街化調整区域は「開発できない場所」ではなく、「未来を切り拓く余白」です。私はこれからも、制度の制約に挑み、専門性と現場感覚を活かして、地域の可能性を引き出す政策を確かなかたちにしてまいります。

実現報告⑤

公共施設の省エネ改修

成果連動型官民連携(PFS・ESCO方式)により、庁舎の全面改修を実現

——省エネ・低コスト・持続可能な公共投資を実現

老朽化が進んでいた町庁舎の空調・照明設備について、私は令和5年定例会で、PFS（成果連動型民間委託）・ESCO（省エネ性能保証型契約）方式の導入を提案。設計から維持管理までを一括し、省エネ効果に応じた“成果連動型”で、財政負担を最小限に抑える仕組みを実現しました。さらに私は、この成果連動型の官民連携手法を、今後の学校や公共施設の整備・改修にも積極的に活用すべきと提案しております。財政の健全性を保ちつつ、持続可能で質の高い公共サービスを実現するための新たなスタンダードとして、町全体の施設整備に波及させてまいります。

改修のポイント

- 高効率な空調・LED照明設備を導入
- 維持管理も含めた包括契約で長期的にコスト削減
- 快適性と環境負荷の軽減を両立

経済的にも効果大！

- 総事業費：約4億4,473万円
- 地方債：約4億20万円
- ▶ 町の実質負担は、わずか約4,000万円！
- ▶ 令和7年度予算に正式計上予定

▶ これからも、財政と環境にやさしい公共投資のあり方を提案し、町の未来を見据えた政策を着実に進めてまいります。



今後も、現場の声を丁寧に受け止め、制度の壁に挑みながら、田原本町の未来を切り拓く政策を一つひとつ着実に実現してまいります。

—— 藤井誠人（田原本町議会議員） —— その実現に向けて、皆さまとともに歩み続けます。

貴重なご意見をお願いいたします。 皆様の未来、豊かな町づくりを実現します。 お力をお貸し下さい。

事務所

〒636-0341 奈良県磯城郡田原本町薬王寺50-2
☎0744-33-2786 FAX.0744-32-0430

▼ 藤井まさとの活動を発信しております ▼



Instagram



「誰ひとり取り残さない町へ」そして「子ども達の未来のために」

発行／藤井まさと後援会

討議資料